

coop 産直 データブック

～ 2015 年版～

品質・価格・数量の安定をめざす

「コープの産直」5つの原則

- ① 組合員の多様な参加のある運営をします。
- ② 生産地、生産者、生産・流通方法を明確にします。
- ③ 生産から流通まで保証すべき品質について品質保証システムを確立し、鮮度・食味の維持・改善に努力します。
- ④ 生産者との関係は、自立・対等を基礎としたパートナーシップで進めます。
- ⑤ 持続可能で環境に配慮した生産・流通を進めます。

「グリーン・プログラム」

「コープの産直」5つの原則にさらに以下の基準を上乗せした取り組みです。

- 青果・米分野では、農林水産省の特別栽培農産物の生産基準と同等の基準で栽培されている農産物とし、環境に配慮した栽培をめざします。
- 精肉・鮮魚分野では、動物用医薬品・飼料添加物の使用条件に合致したものとし、環境に配慮します。

も く じ

ユーコープがすすめる産直事業	1
“コープの産直” 農産物	3
“コープの指定産地米”	5
“コープの産地指定” 畜産物	7
“コープの産地指定” 水産物	9
コープのたまご	11
コープの牛乳	12
生産者と組合員のコミュニケーション	13

ユーコープがすすめる産直事業

～顔の見えるコープの産直～

ユーコープは組合員と生産者のかかわりを大切に、互いに信頼し努力し商品をお届けし続けます

ユーコープは、生産から食卓までつながる取り組みを進めることで食卓の安心を守ってきました。1972年に始まった産直の取り組みは、今では農産物だけでなく水産・畜産品や米・たまごなどにも広がっています。

産地では組合員、生産者、ユーコープの職員がその取り組みについて意見交換をしたり、商品仕様どおりの生産状況であるかなども、ともに確認し合います。

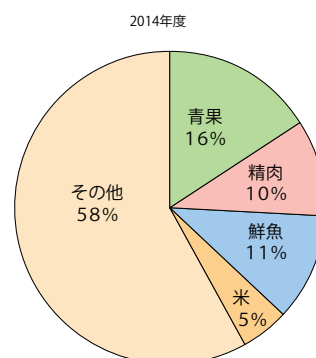
また生産者は店舗での取り組みや組合員の集まりに参加するなど交流を深めながら、産直の商品を育てています。さまざまな取り組みや交流から得られた情報は、商品活動や業務活動を通じて組合員に伝え、「出どころ確か」な商品として安心を届けています。

■ユーコープは商品活動の歴史を通じて、組合員の商品に対する要望を「コープで扱う商品5つの願い」としてまとめています。ユーコープの産直事業は「コープで扱う商品5つの願い」を具体化する取り組みです。

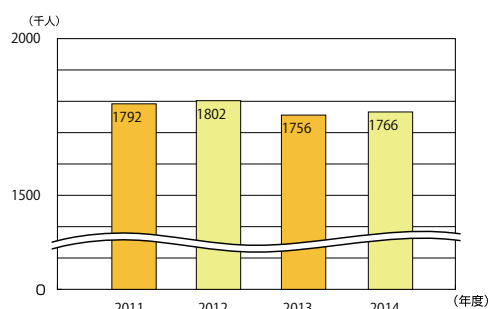
「コープで扱う商品5つの願い」

- ①より安全 …………… 組合員の健康を支える、より安全で信頼できる品質
- ②より安く …………… 暮らしを守り、よりよい暮らしのための価格の安さ
- ③環境に配慮 …………… 持続的に発展可能な社会のために、環境に配慮した商品
- ④正しい情報、適正表示 …… 商品選択のための適切な情報の提供・適正表示と消費者教育
- ⑤組合員参加 …………… 組合員の商品への6つのかかわり
(利用する／意見を出す／学習する／普及する／開発・改善する／評価する)を広げます

●食品供給高に占める部門割合



●ユーコープ組合員数の推移



ユーコープの取り組み

■ ユーコープセレクション

2014年度にはユーコープセレクションとして新規開発販売しました。原料・製法・味にこだわりを持ち、ユーコープが組合員とともに大切に育て続ける「ユーコープ生まれ」「ユーコープならではの」商品シリーズです。日本生協連と共同開発したユーコープならではのコープ商品や、ユーコープの独自商品、産地指定商品、グリーン・プログラム商品があります。新しく開発したものに、「CO・OP特別栽培米岩手ひとめぼれではん」(パック)、「鹿児島県産 真鯛」や「静岡県産 釜揚げしらす」などがあります。

■ 日本の農業応援

休耕田を有効活用し、日本の農業を応援、食料自給率の向上を目指す取り組みとして味菜卵、茶美豚、はぐくみ鶏の一部に飼料用米を給餌しています。

■ 商品を通じた社会貢献

2014年度も、みるくぼきん、フェアトレードバナナなど商品を通じた社会貢献の取り組みを継続しています。



ユーコープの商品に関わる取り組みの歴史

組合員はユーコープに加入するとき、ユーコープへの期待を持って加入します。その期待（特にユーコープで扱う商品への期待）も時代とともに変化してきました。ユーコープは今までもそしてこれからも、組合員の思いを大切にしながら社会の変化の中で産地・生産者とともに歩み続けています。

産直の取り組み		産直の取り組み	
1955	牛乳値上げに反対し 10 円牛乳運動展開	1991	無農薬フィリピンミンダナオバナナ供給開始 「農業使用・栽培法指標（案）」に基づいた「クローパーマーク」のついたかぼちゃ・にんじん、カリフォルニア産ブロッコリーの開発 残留農薬自主基準（案）の運用開始
1966	はじめて生協の指定規格のタラコ開発：タール系色素→天然色素に変更	1993	グリーン・プログラム運用開始 グリーンボックス供給開始
1967	しずおかで原乳値上げ発表をうけ 15 円牛乳運動	1995	産地指定ブレンド米 ふれあい米開始 鹿児島産うなぎ、水産部門の第 1 号グリーン・プログラム ブラックタイガーの開発 牛乳の製造日併記要請 産地指定飛騨和牛の取り扱い開始 アメリカ産のびのびポークの開始
1969	美味しい米を安く、米の共同購入開始	1996	オーストラリア産地指定リベリナビーフの取り扱い開始 鹿児島県産黒豚の開始 奥州赤鶏の開始 組合員開発チームにより、はぐくみ鶏開発
1970	COOP3.2 牛乳発売	1997	水産の吉田焼津産うなぎの取り扱い開始 水産のグリーン・プログラム改訂 茶美豚開発 「コープの産直」運用開始
1972	しずおかで志太園芸グループといちご、翌 73 年完熟トマト取り扱いを開始	2001	コープ牛乳品質不良事故発生
1973	中村果実の桃・ぶどうの取り扱い開始 銘柄米 白雪米の取り扱い開始	2002	はぐくみ鶏加工品産地偽装事件発生
1974	ノーワックスみかんの取り扱い開始 鹿児島経済連と産直豚の取り扱い開始 国産レモンの開発 牛乳の品質検査開始	2005	グリーン・プログラム表示改訂
1975	無着色たらこの開発 宮城松島産かきの取り扱い開始 完熟トマトの開発・無着色ふきの取り扱い開始	2006	グリーン・プログラム改訂
1976	佐賀経済連と鶏肉の事業提携スタート 熊本果実連と提携しジュース、ドリンク開発 開拓豚の取り扱い開始	2008	食と食料政策策定 安全・安心の信頼回復アクションプログラム策定と実践
1977	日付表示した卵を供給開始	2009	フェアトレードバナナの発売 茶美豚・はぐくみ鶏・味菜卵の親鶏へ給餌する飼料用米生産と給餌始まる 産地確認会開始
1978	岩手より牛肉の直送開始 OPP・TBZ を使用しないレモンの取り扱い開始	2010	JA ふらの、ながさき南部生産組合と「まるごと産直」開始
1979	無漂白れんこんの取り扱い開始	2011	日本の農業を応援し、ごはんを真ん中にしたバランスのよい食生活を提案する取り組み「おいしいごはんプロジェクト」開始
1982	岩手県石巻協と牛の産地提携及び同県内で豚肉、鶏肉の取り扱い開始 台湾よりうなぎの輸入開始 産地・工場見学広がる（農協へは 14 回 1690 人）	2012	JA いわて花巻と「まるごと産直」開始
1983	広島産生力キ取り扱い開始 コープの「卵の 4 つの取り扱い基準」作成	2013	産地指定ハーブ三元豚の取り扱い開始 （アメリカ産のびのびポークから変更）
1984	産直愛媛豚の開発 しずおかで国産レモンの植樹祭を実施	2014	ユーコープセレクション商品発表 鹿児島県産 真鯛開発 静岡県産 釜揚げしらす開発
1985	養殖わかめの開発（三浦市金田湾漁協と提携） タイ産ブラックタイガー共同仕入		
1987	残留農薬の自主検査開始 鹿児島県開拓農協と第 1 回目の産地交流実施		
1989	卵ふれあいパック開発 無・低農薬栽培について実験圃場の設置		
1990	ポストハーベスト農薬不使用のバナナ供給開始 オーグメダルビーフの開発 冷凍野菜直輸入の取り扱い開始 生協と農協の出資でグリーンピア設立		

* 1946 年「コープかながわ」の前身のひとつ「川崎生協」が誕生、1949 年「コープしずおか」の前身のひとつ「静岡民主生活協同組合」が設立、

1973 年「市民生協やまなし」の前身である「山梨中央市民生活協同組合」が誕生。1990 年「ユーコープ事業連合」が発足。

* 2013 年 3 月 21 日コープかながわ・コープしずおか・市民生協やまなしは組織合同し「生活協同組合ユーコープ」が発足。

〈野菜〉

産 地		商品名		取り扱い期間	出荷量(ト)	
ＪＡふらの	北海道	コープの産直	ピーマン	8月～10月	29	
	北海道	G・P	ミニトマト	7月～10月	106	
	北海道	G・P	人参	8月～10月	63	
	北海道	まるごと産直	玉ねぎ	9月～5月	1323	
	北海道	コープの産直	とうもろこし	8月	81	
	北海道	コープの産直	アスパラ	6月	5	
	北海道	コープの産直	その他の野菜	通年	14	
ＪＡきたみらい 訓子府支所		北海道	G・P	玉ねぎ	10月～5月	306
		北海道	G・P	男爵	10月～7月	539
JA ながぬま		北海道	G・P	トマト	7月～9月	51
北進ファーマーズ		北海道	G・P	きたあかり	10月～3月	145
JA ゆうき青森		青森	G・P	にんにく	通年	6
JA いわて花巻	岩手県	コープの産直	アスパラ		2	
	岩手県	コープの産直	枝豆		3.5	
	岩手県	コープの産直	ピーマン		0.35	
あやめ生産組合	茨城・千葉	コープの産直	土付ごぼう	9月～5月	11	
	茨城・千葉	コープの産直	さつまいも(紐アズマ)	通年	127	
	茨城・千葉	コープの産直	紅はるか	通年	92	
	茨城・千葉	コープの産直	紅まさり	通年	11	
	茨城・千葉	コープの産直	グリーン・ボックス	通年	213	
JA しおさい		千葉	コープの産直	ピーマン	通年	35
JA 常総ひかり		茨城	G・P	白菜	10月～1月	246
和郷園		千葉	コープの産直	ごぼう	9月～5月	12
JA 利根沼田		群馬	コープの産直	レタス	4月～10月	385
埼玉産直センター		埼玉	コープの産直	ミニトマト	10月～8月	90
JA さがみ	綾瀬支所	神奈川	コープの産直	きゅうり	3月～6月	9
	綾瀬支所	神奈川	コープの産直	トマト	4月7月	20
	綾瀬支所	神奈川	コープの産直	レタス	4月～5月	3
	綾瀬支所	神奈川	コープの産直	なす	6月-7月	4
	海老名きゅうり出荷組合	神奈川	コープの産直	きゅうり	9月～12月	134
	トマトガーデンエビナ	神奈川	コープの産直	トマト	4月～8月	213
	丹沢とまと大熊農場	神奈川	コープの産直	トマト	8月～10月	36
	御所見支店	神奈川	コープの産直	トマト	4月～6月	18
JA 横浜	飯田支店	神奈川	コープの産直	トマト	5月～7月	20
	神奈川地区加藤グループ	神奈川	コープの産直	キャベツ	5～6月/9月～10月	0
	飯田支店全協組合	神奈川	コープの産直	大根	4～5月/10月～12月	103
JA かながわ西湘		神奈川	コープの産直	土付ねぎ	11月～2月	24
三方原開拓農協		静岡	コープの産直	小ねぎ	通年	1
野菜クラブ・サングレイス静岡農場		静岡	コープの産直	トマト	10月～6月	15
すずなり農園		静岡	G・P	枝豆		35
坂田信夫商店		高知	G・P	黄金生姜	通年	88
ながさき南部生産	長崎	G・P	トマト	12月～5月	93	
	長崎	G・P	玉ねぎ	4月～6月	525	
	長崎	G・P	じゃがいも	5月～7月	126	
	長崎	G・P	小ねぎ	通年	22	
	長崎	コープの産直	ブロッコリー	10月～2月	5	
	長崎	コープの産直	生姜	通年	8	
	長崎	コープの産直	その他の野菜	通年	93	
ＪＯＩＮ		熊本	コープの産直	ミニトマト	4月～8月	30
JA やっしろ郡築園芸部会		熊本	コープの産直	トマト		185
JA 綾町		宮崎	G・P	きゅうり	12月～4月	98
JA いぶすき	鹿児島	G・P	かぼちゃ	1月～2月	24	
	鹿児島	G・P	さつまいも	7月～8月	21	
JA そお鹿児島/JA いぶすき		鹿児島	G・P	春人参	12月～3月	342
JA 鹿児島きもつき		鹿児島	G・P	ピーマン	12月～2月	188
JA あまみ 徳之島支所		鹿児島	コープの産直	新じゃがいも	3月～5月	106
ワイシン農園		ニュージーランド	コープの産直	かぼちゃ	3月～5月	7.5

〈果実〉

産 地		商品名		取り扱い期間	出荷量(ト)
JA つがる弘前	青森	コープの産直	葉とらずりんご		212
JA いわて花巻	岩手	コープの産直	サンふじ	9月～12月	26
JA 山形おきたま	山形	コープの産直	デラウエア	8月～9月	13
JA 山形さがえ西村山	山形	コープの産直	さくらんぼ	6月～7月	0
JA 伊達みらい	福島	コープの産直	桃	8月～9月	9.5
JA ほこた	茨城	コープの産直	クインシーメロン	5月～6月	11
	茨城	コープの産直	アンデスメロン	5月～6月	3
中村果実グループ	山梨	G・P	桃	7月～8月	15
	山梨	G・P	デラウエア	8月～9月	0.7
	山梨	G・P	ピオーネ	8月～9月	1
	山梨	G・P	巨峰	8月～9月	14
	山梨	G・P	甲斐路	9月～11月	8
JA 三原	広島	コープの産直	レモン	12月～5月	30
JA にしうわ(八協)	愛媛	コープの産直	みかん	11月～1月	153
JA やさと	茨城	コープの産直	樹成り幸水梨	8月～9月	11
	茨城	コープの産直	樹成り豊水梨	9月～10月	21
JA 松本ハイランド	長野	コープの産直	すいか	7月～9月	410
JA 鳥取中央	鳥取	コープの産直	大栄のすいか		64
JA えひめ中央	愛媛	コープの産直	キウイフルーツ	12月～3月	88
JA にしうわ(川上)	愛媛	コープの産直	みかん	11月～1月	252
JA 須高	長野	コープの産直	巨峰	8月～9月	78
JA かながわ西湘	神奈川	コープの産直	グリーンキウイ	1月～4月	31
JA かながわ西湘	神奈川	コープの産直	みかん	12月～2月	28
美吉野農園	奈良	コープの産直	富有柿	10月～11月	32
有田コープファーム	和歌山	コープの産直	有田みかん	11月～1月	11
紀ノ川農協	和歌山	G・P	ひらたね柿	10月～2月	76
静岡有機みかんの会	静岡	G・P	駿河甘夏	2月～4月	11
	静岡	G・P	レモン	12月～5月	2
都田高部農場	静岡	コープの産直	みかん	11月～2月	38
遠州神子農園	静岡	G・P	芋切干し	11月～2月	5
サンタマルタ地区	コロンビア共和国	G・P	フェアトレードバナナ	通年	188
ながさき南部生産組合	長崎	G・P	いちご	12月～5月	27
	長崎	G・P	みかん	10月～1月	4
FT プランニング出荷組合	熊本	G・P	肥後浪漫すいか	4月～5月	
シトラス 21 中央	熊本	G・P	シトラス 21 みかん	10月～1月	
フィリピンミンダナオ島	フィリピン共和国	コープの産直	国産指定フィリピンバナナ	通年	1782
グリー・ンリバー農園	アメリカ合衆国	コープの産直	グレープフルーツ	2月～4月	64
ロダイスストックトン地区	アメリカ合衆国	コープの産直	アメリカンチェリー	5月～6月	4
ロダイスストックトン地区	アメリカ合衆国	コープの産直	アメリカンチェリー	5月～6月	14
あやめ	茨城	コープ	やわらか干し芋	10月～4月	15
ワイズ農園	アメリカ合衆国	コープの産直	パレンシアオレンジ	5月～7月	0
ワイズ農園	アメリカ合衆国	G・P	レモン	7月～12月	0



グリーン・プログラム

『オレ達のえだ豆』を発売しました

ふっくらプリッとした豆。茶豆風味の濃厚な味と香り。そして噛むほどに深まる甘み。その味に秘められているのは静岡の3兄弟の言いしれぬ努力です。



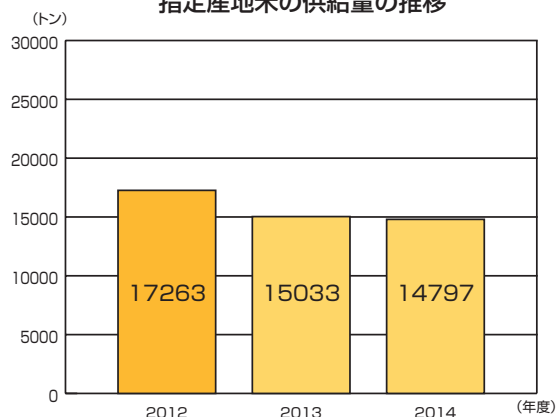
“コープの指定産地米”

2014 年度の取り組み

コープの指定産地米は農協・生産グループを指定した出どころ確かなお米です。1969年に自主流通米制度が開始、当時、価格の安い標準価格米は産地、等級などがブレンドされ食味は良くありませんでした。ユーコープは1969年から品質の保証された標準価格米を提供、1973年からは銘柄もはっきりした白雪米を扱い、それ以来、産地を明らかにしたおいしいお米を提供し続けています。

特別栽培米岩手ひとめぼれの産地「コープの田んぼ」では今年も組合員が田植えと稲刈りをしました。

指定産地米の供給量の推移



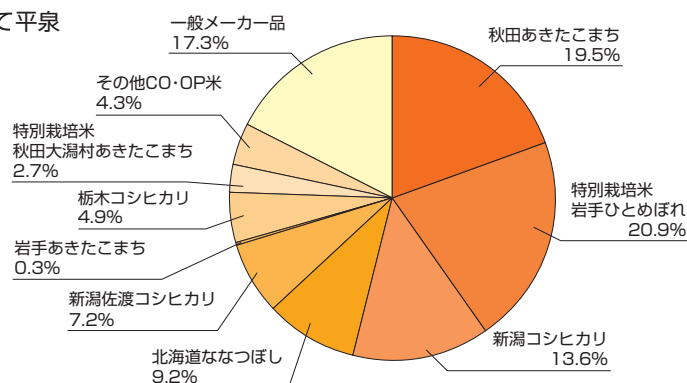
コープのお米の産地



普通精米と無洗米の供給量比率

	普通米	無洗米
2012年度	46.9%	53.1%
2013年度	47.9%	52.1%
2014年度	47.9%	52.1%

米の供給量構成比 (2013 年度)



稲刈りを通じて生産者と産地で交流

「コープの田んぼ」をつくろう

2014年10月。JA岩手ふるさと「コープの田んぼ」で、組合員・職員が「特別栽培米岩手ひとめぼれ」を稲刈りしました。生産者との交流を通じて、より深い信頼を築いています。



コープの選んだ指定産地米

1. 産地交流や学習会など組合員と生産者の交流を大切にしています。
2. 栽培・農薬使用記録があり、記録の確認をする仕組みが整っています。
3. 素性の明らかな種籾を使用、確かな品質のお米を組合員に提供しています。
4. 生産者との関係は、自立・対等を基本としたパートナーシップを進めます。
5. 持続可能で環境に配慮した生産・流通を進めます。

特別栽培米（グリーン・プログラム）

特別栽培米（グリーン・プログラム）は、上記「コープの指定産地米」の5つの原則に以下の基準を上乗せしています。

農業の自然循環機能の維持を図るため、化学合成された農薬及び肥料の使用を低減する「農林水産省の特別栽培農産物の生産基準と同等の考え方で栽培されている農産物」です。コープと生産者との二者で認証し環境に配慮した栽培をめざします。

特別栽培米（グリーン・プログラム）

商 品 名	産 地		特 徴	2014年度 供給量(トン)
グリーン・プログラム 特別栽培米 秋田大潟村あきたこまち	秋田県	大潟村カントリー エレベーター公社	八郎潟の干拓でできた大潟村は、アミノ酸やミネラル類が豊富に含まれた肥沃な土壌です。見渡す限りに広がる豊かな大地で栽培・収穫されたおいしいお米です。	486
グリーン・プログラム 特別栽培米 岩手ひとめぼれ	岩手県	JA岩手ふるさと、JAいわて花巻 JAいわて平泉	四国四県の面積に匹敵する岩手県。県中央から南部にかけて広がる北上川流域の肥沃な穀倉地帯がおいしいお米を育てます。	3,743

コープの指定産地米

商 品 名	産 地		特 徴	2014年度 供給量(トン)
北海道なつぽし 北海道ゆめぴりか	北海道	JA ピンネ、JA きたそらち、 JA たきかわ、JA たいせつ	北海道の米どころ、空知・上川地区の4農協を指定、石狩川流域の肥沃な土壌と空知・旭川地区の盆地で昼夜気温差が大きく、夏は30度を越える気候がおいしいお米を育てます。	2,165
秋田あきたこまち	秋田県	JA 秋田おぼこ、JA 秋田みなみ、 JA 新あきた	白神山、奥羽山脈、鳥海山に囲まれ、その連なる山々を水源とした肥沃な大地から形成される水田地帯にて育まれたおいしいお米です。あきたこまち発祥の地で、うまい米作りに取り組んでいます。	3,484
岩手あきたこまち	岩手県	JA 新いわて	山間地を抱えた自然環境に恵まれた地域です。コープのお米が栽培される雫石町・滝沢村近郊は米作りと酪農が盛んで、稲わら・籾がらと畜産堆肥を有効に活用しています。刈り取り後、稲わら・籾がらは牛の寝床となり、その後有機堆肥となって再び田んぼに戻しています。	60
新潟コシヒカリ	新潟県	JA にいがた南蒲、JA 越後中央、 JA 新潟みらい、JA 新潟さつき	信濃川や阿賀野川などの河川に囲まれた越後平野、豊富な雪解け水が米作りに適した肥沃な穀倉地帯をはぐくみます。日本を代表するお米です。	2,434
新潟佐渡コシヒカリ	新潟県	JA 佐渡	対馬海流の影響で、冬は比較的暖かく夏は涼しい佐渡。豊かな自然環境に恵まれ、島の中央に広がる国仲平野で良質な米作りに取り組んでいます。	1,280
胚芽精米はえぬき	山形県	JA 山形おきたま	四方の山から流れ出る豊富な清流と盆地特有の気候が米作りに適した山形のはえぬきを使用しています。ビタミンを多く含む栄養価の高い胚芽部分を80%以上残した胚芽精米です。	261
栃木コシヒカリ	栃木県	JA なすの、JA かみつが、 JA しおのや、JA はが野	鬼怒川、那珂川の二大河川の豊富な水と、その流域に広がる肥沃な土壌。豊富な日照量と一日の寒暖差が大きい気候が米作りに適しています。	884

“コープの産地指定” 畜産物

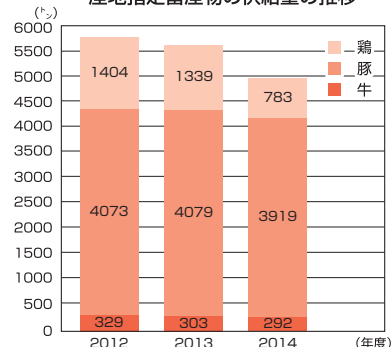
2014 年度の取り組み

日本の食料自給率は 40% 程度と多くの食料を輸入に頼っています。国内で飼育されている家畜の飼料も多くが輸入に頼っている状況です。これまでユーコープでは組合員と生産者が一緒になって、はぐくみ鶏や茶美豚などの開発を行い育ててきました。

2009 年度からは国産飼料の活用による国内自給力強化への貢献と休耕田の有効活用による水田の保全を目的として茶美豚とはぐくみ鶏の一部に飼料用米を給餌しています。

給餌開始から 6 年目の 2014 年も、茶美豚・飼料用米給餌の取り組み産地である J A いわて花巻で「飼料用米給餌の取り組み総括会」を開催しました。これまでの経過および到達点の確認を行い、産地関係団体との相互理解を深めました。

産地指定畜産物の供給量の推移



豚 肉

茶美豚 (チャーミーポーク)

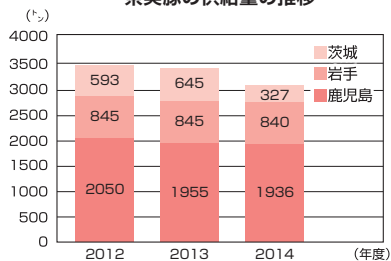


1997 年、「もっと特徴を生かしたコープの豚肉が欲しい」との声に応え、旧コープかながわ、旧コープしずおか、旧市民生協やまなしの組合員 9 人で開発チームを結成、約半年かけて茶美豚を開発しました。

出荷前の約 2 ヶ月は穀物飼料(いも、大麦、マイロを主原料) にビタミン・ミネラルを強化し、カテキン(お茶の成分) を加えた飼料を与えています。

茶美豚は岩手県、茨城県、鹿児島県の 3 つの産地で育てられ、2013 年に 15 周年を迎えたロングセラーです。

茶美豚の供給量の推移

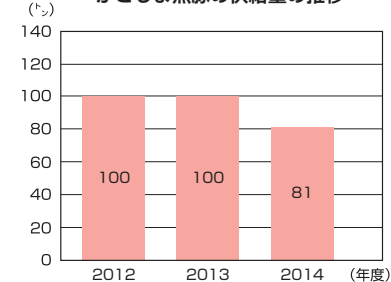


かごしま黒豚



かごしま黒豚は温暖な気候である鹿児島県大隅半島で育ち、甘藷(かんしょ) 入り飼料を給与し飼育されるため、肉は筋繊維が細く、脂肪融点が高いので、食味はやわらかく、締りがあり、ほのかに甘みがあります。2011 年度からはカテキン(お茶の成分) を加えて、ビタミン E を強化した飼料で健康な豚に育てています。

かごしま黒豚の供給量の推移

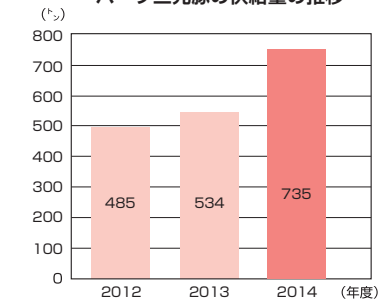


ハーブ三元豚



カナダ産ハーブ三元豚は、自然豊かで雪解け水の豊富なマントニバ州で育てられています。こだわりの 3 つの品種をかけ合わせた豚です。オレガノ・タイム・シナモンの樹皮という 3 種のハーブからとれる抽出物を添加した独自の飼料を給与し、飼育されるため、香りがよく、ジューシーな旨みがあります。

ハーブ三元豚の供給量の推移



※ 2012 年度はのびのびポークの実績です。

「コープの産地指定」豚肉

産地	茶美豚				かごしま黒豚		ハーブ三元豚
	鹿児島県 (JA 鹿児島県経済連)		岩手県 (JA 全農いわて)	茨城県 (株ヒラノ)	鹿児島県 (JA 鹿児島県経済連)		カナダ マントニバ州
	鹿屋地区	南薩地区			子豚生産 (株屋久島黒豚ファーム)	肥育 (富山農場)	ハイライフフーズ
品 種	38 農場指定	21 農場指定	6 農場指定	1 農場指定	B (パークシャー種)		2 農場
出 荷 日 齢	LW.D (ランドレース種、大ヨークシャー種・デュロック種) 中心				約 240 日齢		約 180 日齢
飼料に抗生物質添加しない期間	出荷前 60 日間以上				出荷前 120 日間以上		出荷時に残留していないこと
糞 尿 処 理	各農場において糞尿処理施設を設置、糞については畑地還元、尿については水質法をクリアしたうえで放流		発酵堆肥化して域内(野菜農家等)に還元、尿は分離し浄化放流	堆肥舎を設置し、糞と尿はオガクズ豚舎のため堆肥化し、地域内外の耕種農家へ還元	各農場において糞尿処理施設を設置、糞については畑地還元、尿については水質法をクリアしたうえで放流		汚水コントロールにはラグーンを使用し、バクテリアによる分解作用を使って浄化
2014 年度出荷量	145 トン	100 トン	840 トン	327 トン	81 トン		735 トン

※ コープの産地指定のびのびポークは 2013 年 3 月に扱いを終了し、新たにコープの産地指定カナダ産豚肉ハーブ三元豚の扱いを開始しました。

鶏 肉

はぐくみ鶏



1996年、コープかながわの50周年記念商品として、はぐくみ鶏が開発されました。1999年には、市民生協やまなしの組合員商品開発チームによって、「いままで以上においしい鶏肉を」と再開発。翌2000年、生産者の協力により、特別飼育鶏として供給できるようになりました。2004年には穀物飼料のトウモロコシ比率などの見直しを行い、より利用しやすい価格と品質を実現することができました。

また2009年には一部のはぐくみ鶏に飼料用米を与える取り組みを開始しました。

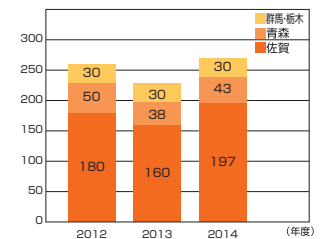
2012年度からは組合員に安定してはぐくみ鶏を供給できるよう、これまでの青森県、佐賀県に加え、群馬・栃木県でもはぐくみ鶏が生産されるようになりました。

1. 全飼育期間中、飼料と飲み水の中に抗生物質・合成抗菌剤を一切使用せず、ワクチン投与のみで生産した特別飼育鶏です。
2. 鶏肉特有の臭みを減らすため、魚粉などの動物性飼料を減らし、植物性飼料主体で飼育しています。
3. 皮と脂肪の黄色味を減らすために、飼料のとうもろこしの配合を工夫しています。
4. ふ化場では親鶏・種卵・ひなの確認・生産農家への出荷数などを記録し、生産農家では鶏舎ごとに、はぐくみ鶏の飼育体系に基づいて飼育されているか記録しています。

「コープの産地指定」鶏肉

産地	はぐくみ鶏		
	佐賀県	青森県	群馬・栃木県
JA フーズさが	JA フーズさが	プライフーズ(株)	群馬農協チキンフーズ
29農場	29農場	23農場	28農場
品 種	チャンキー(コップ)	チャンキー(コップ)	チャンキー(コップ)
出 荷 日 齢	47～53日前後	45～54日前後	45～53日
飼料に抗生物質 添加しない期間	全期間	全期間	全期間
単位面積当たり飼育羽数	47羽/坪	49～54羽/坪	50羽/坪
2014年度出荷量	180万羽	38万羽	30万羽

(万羽) はぐくみ鶏の供給量の推移



JAグループ佐賀ブロイラー部会
高森さん

牛 肉

北海道産牛



北海道産牛は飼育農場の自家採草地の牧草を主体とした粗飼料と、おいしさの秘訣である配合飼料を与えられて育てられています。

1. 仔牛の段階から出荷まで、治療・投薬・飼料などの記録管理が同一の管理者によって徹底されている農場です。
2. 出荷した肉色の基準を設け、安定した色の商品を提供します。
3. 頭数単位で取り引きすることで、安定した生産を進め、品質、価格の改善を行います。

オーストラリアビーフ

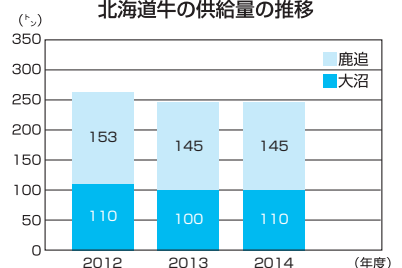


1. 出どころが確認できる牛肉です。
2. 出荷前100日間は穀物飼料を中心に飼育しています。
3. 治療や成長促進等を目的として使用する薬剤については投薬基準・履歴などを確認しています。
4. 全国の生協が共同で調達することで、安定した品質・量を確保して提供し続けることができます。

「コープの産地指定」牛肉

産地	北海道産牛		オーストラリアビーフ
	鹿追(しかおい)	大沼	ニューサウスウェールズ州
と畜加工場	(株)大平畜産工業	(株)大沼肉牛ファーム	JBS社
品 種	交雑種(黒毛和種×ホルスタイン種)・去勢	ホルスタイン種・去勢	ブラックアンガス、 ヘレフォード及びそのクロス
出 荷 月 齢	約26ヶ月齢	約20ヶ月齢	22～27ヶ月齢
糞尿処理	製材所で発生するおが粉や間伐材を粉碎したチップを農場の床に敷き、使用後は自然発酵させ、自家牧草地や地域の畑に還元しています		フィードロッド内にて出た糞尿は敷地内にて堆肥化し還元
肥 育 頭 数	3,753頭	7,000頭	55,000頭ライセンス
2014年度出荷量	145トン	100トン	47トン

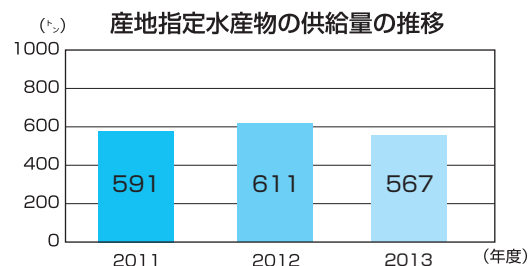
北海道牛の供給量の推移



“コープの産地指定” 水産物

2014 年度の取り組み

水産資源の減少問題に対し、MSC 認証品を利用する取り組みを続けています。
新しく産地指定鹿児島県産真鯛と静岡県産釜揚げしらすを開発しました。



コープでは、生産者、養殖海域、飼料を確認できる養殖生産者を選定することで、「コープの産地指定」としています。産地指定品については、養殖過程で養殖魚の安全性を担保できるようにしています。「グリーン・プログラム」は、産地指定に加え水産用医薬品をできるだけ使用しないこととしています。



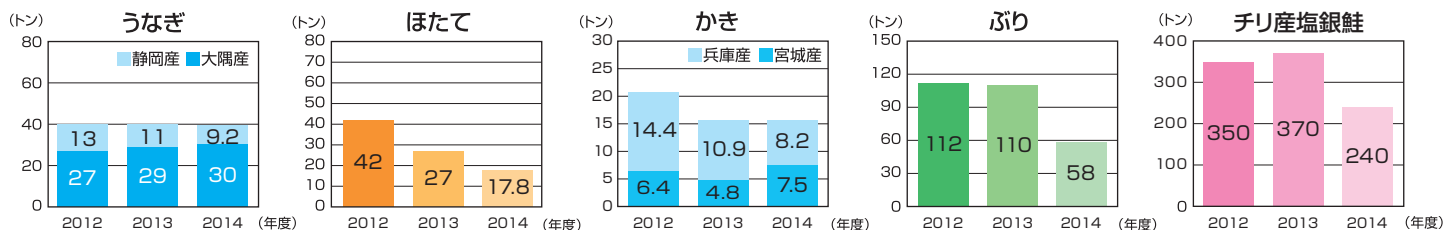
コープの産地指定 鹿児島県産真鯛を発売しました

脂がのった、ぷりっぷりの鯛

ユーコープと10年以上交流がある産地指定鹿児島県産ぶりと同じ産地で大切に育てています。水揚げ後はすぐに活け絞め。だから鮮度が違います。こだわりの餌を使用。しっかりと管理して育てています。



供給量の推移



「グリーン・プログラム」、「コープの産地指定」水産物

商品名	産地	特徴	2014年度供給量(トン)
グリーン・プログラム 静岡産うなぎ	静岡県吉田町、焼津市	地元の生産者(9名)と提携し、静岡うなぎ漁業協同組合で加工。包材に生産者番号と生産者名を印字。組合では独自の検査室で養殖池の水質分析を実施、水揚げ予定の1週間前にはサンプルうなぎの残留薬品や食味の検査を実施しています。	9.2 (蒲焼)
グリーン・プログラム 鹿児島・大隅産うなぎ	鹿児島県志布志市	養殖から蒲焼まで一貫生産。1日2回の水質検査、コンピューターによる水質調査など、人の目と最新技術を組み合わせた24時間管理体制を実施。人が飲めるほどの水質の地下水を使用し、抗生物質、合成抗菌剤を一切使用せずに養殖しています。	30.0 (蒲焼)
オホーツク産 刺身用ほたて貝柱	北海道紋別市	オホーツク海の冷たい潮流で育ったほたて。瞬間湯通し製法で解凍時のドリップが少ないのが特徴です。	17.8
宮城県産生かき	宮城県牡鹿半島	宮城県でも最大の生産量を誇る中部海域の牡鹿半島周辺海域の生かき鮮度と美味しさを保つため塩分2%の充填水使用、トレーサビリティシステムで採取日、採取海岸、浜名、生産者、生産数量公開しています。	7.5 (むき身)
播磨灘産一年かき	兵庫県相生市、室津 岡山県瀬戸市虫明	千種川、損保川が流れ込む、相生、室津の清浄海域で豊富な植物プランクトンで育つ一年ものかき。養殖いかだの数を少なくし、のびのびした環境で大きく育ちます。	8.2
鹿児島産真鯛	鹿児島県	ユーコープと10年以上交流のある産地で、こだわりの餌で管理して育てています。水揚げはすぐに活け締め、だから鮮度が違います。	52.2
鹿児島県産ぶり	鹿児島県長島町	餌に固形飼料(ペレット)を使用し、ほどよい脂のりと安定した品質を実現。ぶり養殖管理基準書による生産管理。長島町は大小の島々がつくる潮の流れや黒潮の関係で年間平均海水温19℃のぶり養殖に適した環境です。	58.0
静岡産釜揚げしらす	静岡県南駿河湾	漁獲後60分以内に港に着き、加工場まですぐの吉田港から主に原料を買い付けすることで、鮮度がよいしらすを仕入れ、釜ゆで時の塩分濃度を抑えて、しらす本来のおいしさを引き出す製法で作りました。	14.6
刺身用本まぐろ	奄美大島、沖縄	本まぐろの稚魚を2~3年(約2.5年)かけて養殖。久根津湾に巨大なイケスを設置し、1イケス2000の低密度養殖。出荷まで合成抗菌剤、抗生物質は使用せずに養殖しています。	2.8 (59本)
チリ産塩銀鮭(甘口)	チリ	コープの指定する養殖会社で採卵・ふ化から養殖・加工まで一貫生産。年に1回以上、コープの職員が現地点検、さらに輸入時に日本国内での検査実施しています。	240.0

地元静岡県産の「しらす」を、CO・OP商品として開発しました。

コープの産地指定 静岡県産釜揚げしらす

南駿河湾漁協での買付指定(主に静岡県吉田漁港)。漁港近くの工場で高鮮度のまま加工・出荷しています。
良い品質のものを選別し、塩分抑え、しらすのおいしさを引き出しています。



コープのたまご

2014 年度の取り組み

よりよいたまごを求めて、コープは 1983 年に卵の取り扱い基準として①安定供給、②高品質、③出どころ確か、④価格の安定の 4 つを決めました。この後、1989 年には従来の基準に安全や栄養バランスも加味したふれあいパックが発売されました。2002 年には飼料内容にこだわった味菜卵を発売し、2009 年には、日本の農業・畜産業が抱える課題をともに考え理解を深めるとともに、水田の有効活用による食料自給力の強化につなげる取り組みとして、飼料内容を変更し餌に国産の飼料用米を加えています。2014 年度は味菜卵の赤玉を発売しました

味菜卵

- ・生臭さの少ないおいしい卵のために、植物性飼料のみで育てました。
- ・飼料に国産の飼料用米を白玉には 5%、赤玉には約 10%加えています。
- ・2012 年からは卵 1 個ずつシールが貼られ、賞味期限や採卵日がわかるよう改善しました。

産 地		特 徴	2014 年度 供給量 (万パック)
千葉県	横浜ファーム (店舗・宅配)	房総半島の中央に位置し、恵まれた自然環境の中で高品質な卵を生産しています。	334
茨城県	横浜ファーム (宅配)	筑波山を東に望む緑と水に恵まれた茨城県南部で、環境を考慮した鶏卵生産に取り組んでいます。	139

宅配では組合員の声に応えパックをリサイクルしやすいようにラベルをパッケージの中に入れていきます。

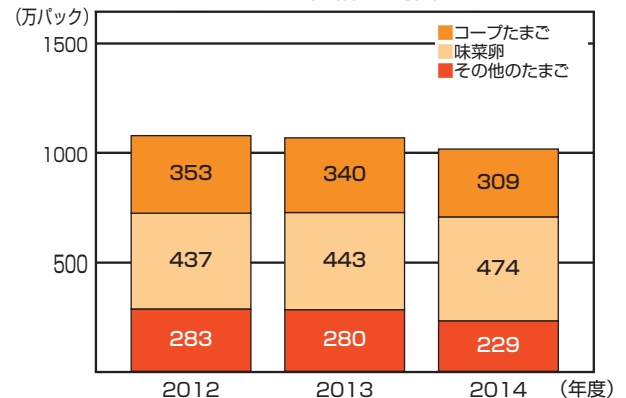


コープたまご

コープの指定した養鶏場で衛生管理などの基準や記録について記載した「コープのたまご品質ガイドライン」に適合した品質と衛生管理にこだわった卵です。

産 地		特 徴	2014 年度 供給量 (万パック)
千葉県	サンファーム (店舗・宅配)	「健康な鶏から、良品質の卵が産まれる」の考えでヒナから一貫管理しています。	54.0
茨城県	つくばファーム (店舗)	ウィンドレス鶏舎と G・P センターが併設しています。徹底した衛生管理をしている施設です。	34.9
神奈川県	神奈川中央養鶏農業協同組合農場 (店舗・宅配)	地産地消のもとに神奈川県生まれの卵を生産しています。相模川と中津川に囲まれた都市近郊の丘陵に位置する農場です。	69.6
埼玉県	タカハシ養鶏場深谷農場 (宅配)	総羽数約 40 万羽の養鶏場です。餌の自家配合、ヒヨコの自家育成をしています。	68.0
静岡県	あさぎり高原ファーム (宅配)	富士山の麓に位置し、富士山の伏流水を鶏に与えています。	18.2
	野田養鶏 (店舗)	浜名湖近く緑豊かな農場です。農場に隣接する G・P センターでパックしています。	1.4
	ホソヤ家禽研究所 (店舗・宅配)	住宅地と離れた緑豊かな山奥にある、環境を重視した養鶏場です。静岡県の農水産物認証制度の認証を取得しています。	62.3

たまごの供給量の推移



「飼料用米」で日本の農業を応援！

2009 年から、休耕田を利用して栽培した国産の飼料用米を味菜卵の親鶏の飼料に 5%加えています。日本の食料自給率向上につながる取り組みです。



秋田県 大潟村 農業生産法人(有)せりた 飼料用米の田んぼ

コープの牛乳

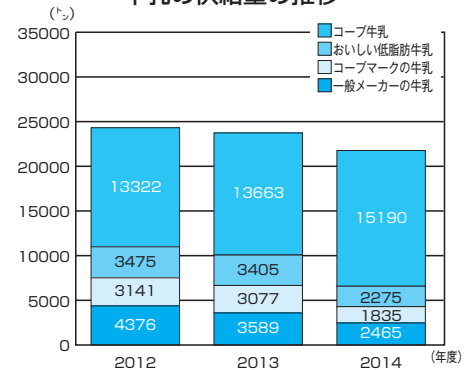
コープの牛乳の歴史と取り組み

牛乳は多くの組合員が日常的に利用する商品です。コープの牛乳は①より利用しやすい価格でお届け、②安定して供給できる産地や仕組みづくり、③組合員の要望にあわせた飲み口や製法の異なる牛乳の提供、④原料の品質・製造工場の衛生管理を基準に日本生協連での定期的な工場点検や確認を行っています。

2010年組合員の要望に応じて栄養を強化した低脂肪乳Ca+Feを発売、また2012年5月にはこくのある北海道3.7根釧牛乳、2013年9月にはこくとキレのある特濃4.6が発売され、組合員のさまざまな要望にそった商品を取り揃えています。

1955年	大手メーカーの牛乳の値上げに対して10円牛乳の取り組みがスタート
1965年	成分無調整のコープ牛乳の誕生
1987年	低温殺菌牛乳を発売
1995年	法律の改正により、製造日表示から消費期限表示へ変更
1997年頃	コープの牛乳4種類を販売
2001年	コープ牛乳による品質不良事故発生
2002年	この年から牛乳製造の専門家を配置し工場点検と配送中の温度管理の強化を実施。その後、品質不良事故は起きていません
2008年	日本生協連、コープネットとの共同開発を行う

牛乳の供給量の推移



コープの牛乳

商品名	殺菌方法	乳脂肪	賞味期間	生産産地	特 徴	2014年度供給量(㍑)
コープ牛乳	125℃ 2秒～ 130℃ 2秒	3.5%以上	11日	複数産地	複数産地・複数のメーカーで集乳・委託製造することで牛乳を安定的に安価で供給することができます。飲みなれた味です。	15,190
北海道十勝牛乳	120℃ 2秒	3.6%以上	14日	北海道十勝地方	北海道十勝産の良質な生乳を使用しています。現地工場で殺菌・パック詰めしてお届けします。	242
北海道3.7根釧牛乳	130℃ 2秒	3.7%	16日	北海道根室・釧路	北海道根室・釧路地域でとれた生乳を使用しました。	672
低温殺菌牛乳(店舗)	65℃ 30分間	3.6%以上	7日	長野県限定	信州の良質な原乳を使用し、熱負荷の少ない製法で生乳本来の風味が楽しめます。	209
低温殺菌牛乳(宅配)	66℃ 30分間	3.6%以上	8日	岩手県葛巻町限定	岩手県葛巻町の良質な原乳を使用し、現地の工場66℃ 30分間殺菌しました。生乳本来の風味が楽しめます。	
おいしい低脂肪牛乳	130℃ 2秒	1.2%	11日	神奈川県・千葉県・静岡県	脱脂粉乳などは使わずに生乳から乳脂肪分を一部除いただけの部分脱脂乳です。すっきりとした味わいになりました。	2,275
さらっと無脂肪牛乳	130℃ 2秒	0.2%	11日	複数産地	生乳からほとんどすべての乳脂肪分を除去した無脂肪牛乳です。	237
低脂肪乳Ca+Fe	130℃ 2秒	0.7%	12日	複数産地	身体に必要なカルシウム、鉄分、葉酸、ビタミンDをバランスよく摂取できる乳飲料です。	58
特濃4.6	120℃ 2秒	4.6%	12日	複数産地	4.6%という高脂肪ですが、コクがありキレがあります。クリームチーズを加えた濃厚感ある乳飲料です。	417

世界の子どもたちに笑顔と夢を。



コープの牛乳1リットルにつき1円を、世界の子どもたちの支援に役立てています。

みるくぼたんでは
2008年から2014年までに

40,322,194 円

寄付することができました。



ユニセフは「児童労働と闘うネパール指定募金」を支援。



国連WFP「学校給食プログラム」を支援

生産者と組合員のコミュニケーション

ユーコープでは、商品を通じて生産者と組合員が
より信頼関係を深めることを大切にしています。



特別栽培米「岩手ひとめぼれ」組合員・職員が交流

「岩手ひとめぼれ」の産地「JA岩手ふるさと」を組合員・職員が訪問し、産地確認会や田植え・稲刈り体験、生産者と交流を通してコープの産直の理解を深めました。また、気軽にできるコミュニケーションの一環として「産地へのおたより」を募集し、産地・生産者へお届けしました。



ながさき南部生産組合ファームステイ



まるごと産直の取り組みをしているながさき南部生産組合の生産者宅に、職員が寝泊まりしながら農業体験をする「ファームステイ」を実施。おうちCＯ－ＯＰ職員6名が、生産者の取り組みや苦勞を学びました。また、組合員から寄せられたお手紙も届けました。



埼玉産直センター産地交流

コープで
体験・学ぶ会

コープの産直「ミニトマト」をはじめ、コープの様々な野菜を生産している埼玉産直センターでミニトマトの施設等を見学しました。「組合員に安全でおいしい野菜をお届けしたい」という思いで取り組む生産者の方々のお話を聞き、農産物の安全・安心を確認。生産者との交流を深めました。



中村果実産地交流

コープで
体験・学ぶ会

前年度に引き続き、3県の組合員が、山梨のぶどうの産地へ行き生産者と交流しました。グリーン・プログラム巨峰の収穫体験や生産のこだわりを学びました。



袋井茶農園産地交流

コープで
体験・学ぶ会

3県の組合員が「丸善製茶」と「袋井茶農家の会」を訪ね、「CＯ・ＯＰ静岡の深むし茶」新茶手摘み・手もみ体験をしました。あらためてお茶の良さを感じました。





編集・作成：生活協同組合ユーコープ 組合員参加推進部 政策企画課
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-8
TEL 045-305-6115 ホームページ <http://www.ucoop.or.jp/>

2015年10月発行